

市民と行政が協働する「市民主体の減災力の強いまちづくり」 特別記念研修プログラム

Ver7.1

平成30年度上期 特定非営利活動法人減災ネットやまなし

目的	本プログラムは、特定非営利活動法人減災ネットやまなしの10周年を記念して、各市町村の危機管理政策に寄与する目的で、市内の自治会、各種団体、企業、公共、職員、議員等向けの家庭・地域・職場の減災力向上を目的に無料で行われるものです。					
番号	推進メニュー	推進内容例	時間	実習	前提条件・備考	
01	知っていれば必ず役立つ 基礎知識の習得	災害の知識、減災とは、防災と減災、地域防災計画とは、家庭と地域の減災（概要）、職場の減災、タイムライン等	1.5	△	実習の△マークは、少し実習があること。	
02	実践重視の 今すぐできる家庭の減災	家庭の減災力づくり、家庭の整備と訓練【命と財産を守る整備と訓練、寒さ対策、安否確認法（171）】等	1.5	○	実習の○マークは、時間の半分は実習の意味。要携帯電話	
03	いざという時に互いに助け合う 家庭を取り巻く地域の減災	地域の減災力機能する自主防災組織とは、三種の神器、規定例、持続する仕組みづくり、効果的な訓練等	1.5	○		
04	自分たちで歩いて 地域の安全性を確認しよう	地域の安全性について学習し、実際にみんなで歩いてみよう。歩いてみて、安全性を話し合ってみよう	2.0	○	事前に地域内の歩くルートを決めておくこと。	
05	自分たちで作る自分たちのための 減災マップの作成	住民みんなで自地域を歩いた結果から、自分たちのための減災マップをつくろう。（前提条件あり→）	1.5	◎	実習の◎マークは、大半が実習の意。前提：マップが必要	
06	作ったマップを使い 訓練してみよう	マップ上の経路、規定、連絡方法等に従い、地区で訓練してみよう。そして、不備な点を話し合おう。（前提条件あり→）	1.5	◎	前提：マップが必要	
07	専門家に指導してもらおう 地域の防災訓練	毎年実施している自地域の防災訓練を、専門家の指導で実施してみよう。また、そこでは市の訓練項目の徹底を図ろう。	2.0	◎	地域の要望を優先した事前の打ち合わせが必要。	
08	みんなで楽しく学ぼう 防災グッズの作り方	段ボールヘルメット、ゴミ袋防寒着、ラップ活用の策さ対策、断水時の洗顔法、断水時の歯磨き法（前提条件あり→）	1.5	◎	各自段ボールを用意。その他、ペットボトル等	
09	親子で学ぼう 親子防災・減災教室	炊き出し体験。断水時のゴミを出さない食事法体験。担架搬送体験。清潔なトイレ利用法。親子減災ゲーム。AED訓練等。	2.0	◎	ゲームを選べます。AEDはOP	
10	マップ利用の図上訓練	想定事態・想定事象から、作成されたマップ上の課題抽出と対策（整備と訓練）、マップの充実化	1.5	◎	前提：マップが必要	
11	自主防災組織のつくり方	規定、体制、整備（ソフト&ハード）と訓練の方法	1.5	—	実習なし（—マーク）	
12	地域の規定のつくり方	地域初動規定、小地域初動規定、要配慮者対策規定、人材名簿	1.0	—		
13	作っておきたい 地域計画の策定	人づくり	平素と災害時に地域を支える人材づくり	?	—	地域事情によって、係る時間が異なります。
14		組織づくり	いざという時に機能する組織づくり（自主防災組織）	?	—	
15		整備	ソフト整備とハード整備	?	—	
16		訓練計画	整備に従った訓練の計画と実施と検証 → 計画の見直し	?	○	
17	BCP 事業継続計画	BCPとは？	BCPの目的、内容、期待する効果等を学習		—	年間の支援先に制限があります。また、一部で実費のかかる場合があります。
18		BCPの策定	ガイドラインに従ったBCPの策定		◎	
19		BCPの訓練	訓練と検証と見直し		◎	
20	その他、要望する推進項目	上記にない要望項目や一部だけ受けた場合など、特定非営利活動法人減災ネットやまなし 記念研修事務局にご相談ください。 電話 0551-23-5656				

(注1) 推進メニューは、セットでの研修も可可能です。

(注2) 一部の实習には、市町村または参加者にご用意いただくものもあります。(例：段ボール、牛乳パック、輪ゴム等)

(注3) 災害用伝言ダイヤル171は、当日、使えない場合もあります。